

# 町田市廃棄物最終処分場周辺環境保全協議会

## <平成22年度 対策工事経過・モニタリング調査結果> 説明資料

### 【目次】

1.対策工事経過報告.....	1
2.モニタリング調査結果報告.....	8
3.来年度の計画について.....	12

平成23年3月29日（火） 15：00～17：00

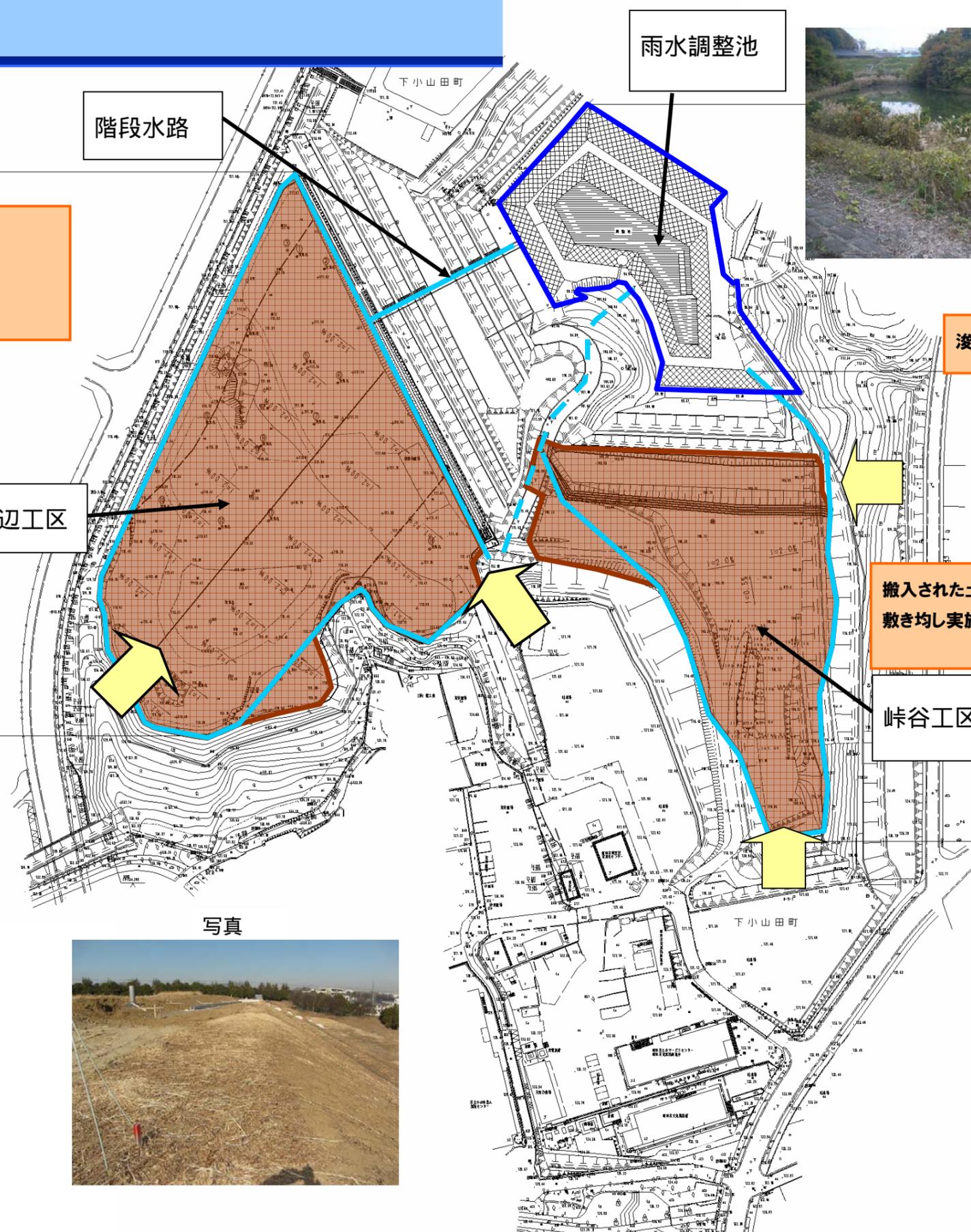
町田リサイクル文化センター

町田市環境資源部環境総務課

# 1. 対策工事経過報告



搬入された土を、敷き均しを実施中。  
階段水路は工事完了。  
外周水路は工事完了。



雨水調整池



施工前



完了

写真

浚渫工事は完了。



写真

搬入された土を、敷き均し実施中

嵯谷工区



写真



写真



工事中の案内板

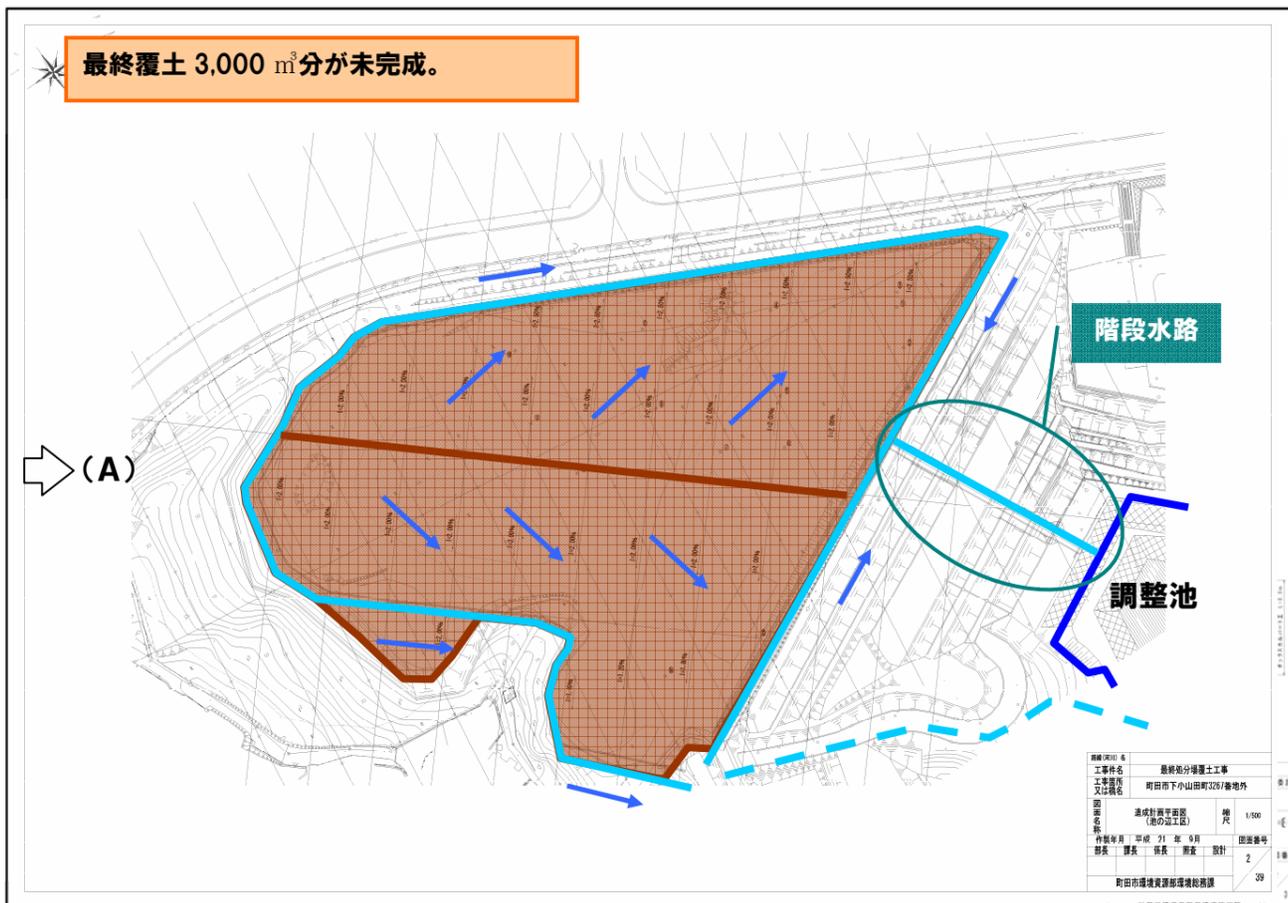


## 【対策1:覆土】

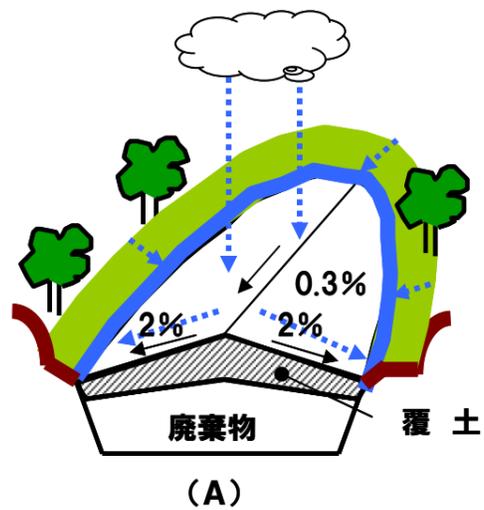
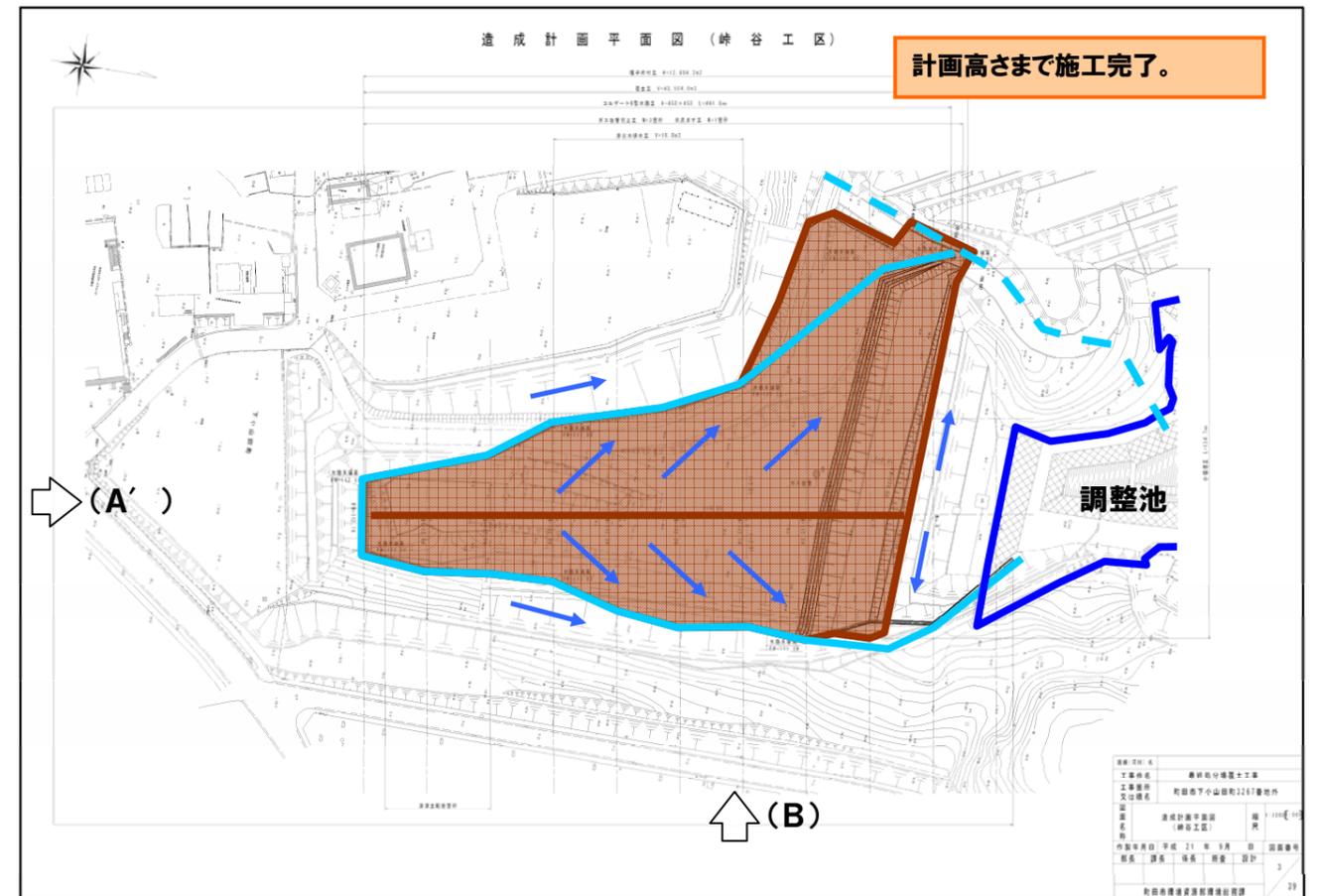
- ・着色部分に覆土を行う。
- ・覆土材料：事前の土壌分析結果で合格したものを使用。
- ・水色（実践）：外周水路（今回の工事で設置）池の辺工区：現地盤から1~2m程度、峠谷工区：現地盤から6m程度。
- ・水色（点線）：既存の雨水集水管



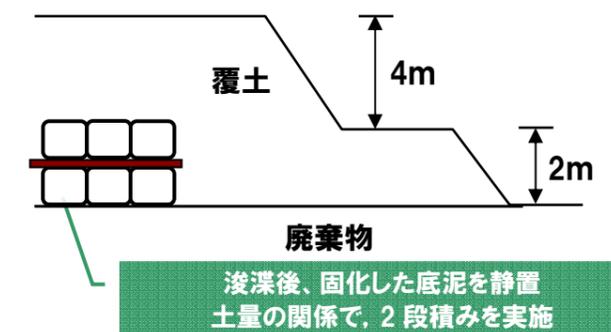
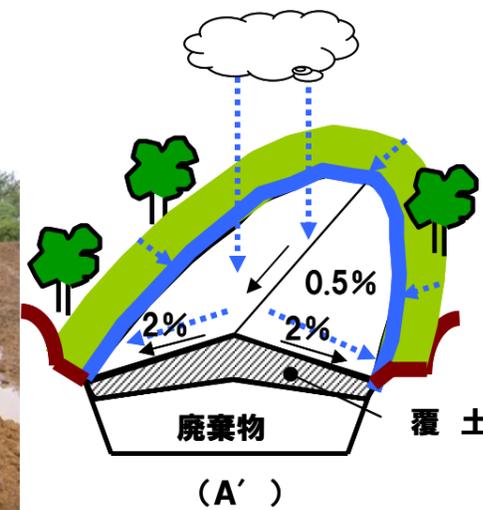
### <池の辺>



### <峠谷>



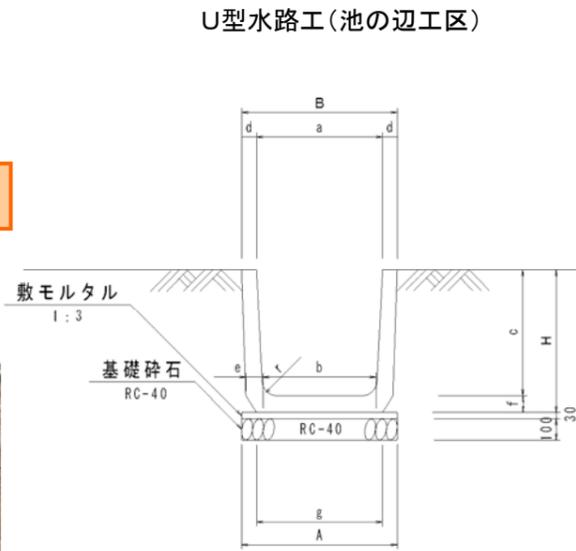
搬入土の確認状況



**【対策2:雨水排除】**

埋立区の外周水路

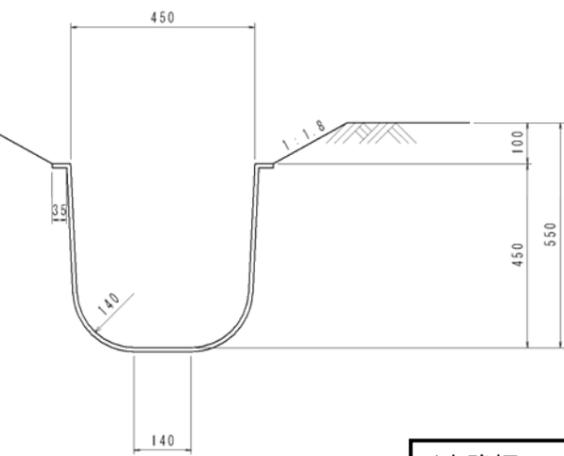
施工完了。



(水路幅: 60cm)  
池の辺工区については、今回の覆土後の水路を恒久的に使用する。  
【都の基準】 5年確率の降雨強度  
↓  
過去の降雨量データをもとに、より安全側を見て「10年確率」の降雨強度をもとに、水路幅を設定。

水路規模: 60cm × 60cm, 36cm × 36cm  
延長: それぞれ 520m, 130m

コルゲートU型水路工(峠谷工区)



施工完了。



水路規模: 45cm × 45cm  
延長: 450m

階段水路

池の辺工区で集めた雨水を調整池まで導水するために設置

施工完了。  
水の流下場所を考慮し、15m 南側へ移動。

水路規模: 幅 250cm × 高さ 110cm  
延長: 77 m

施工前

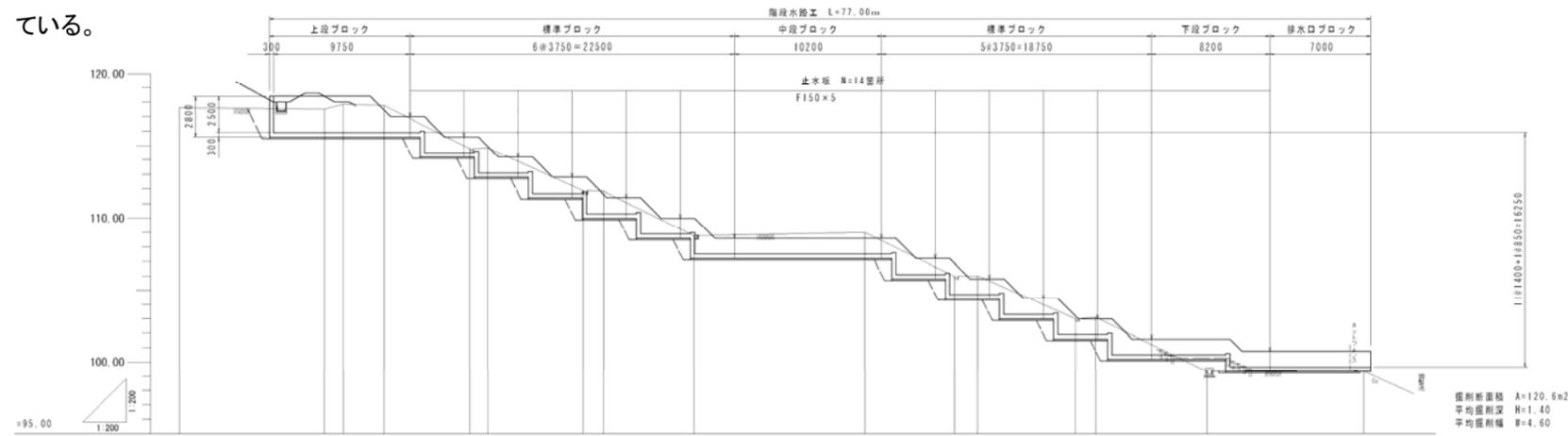
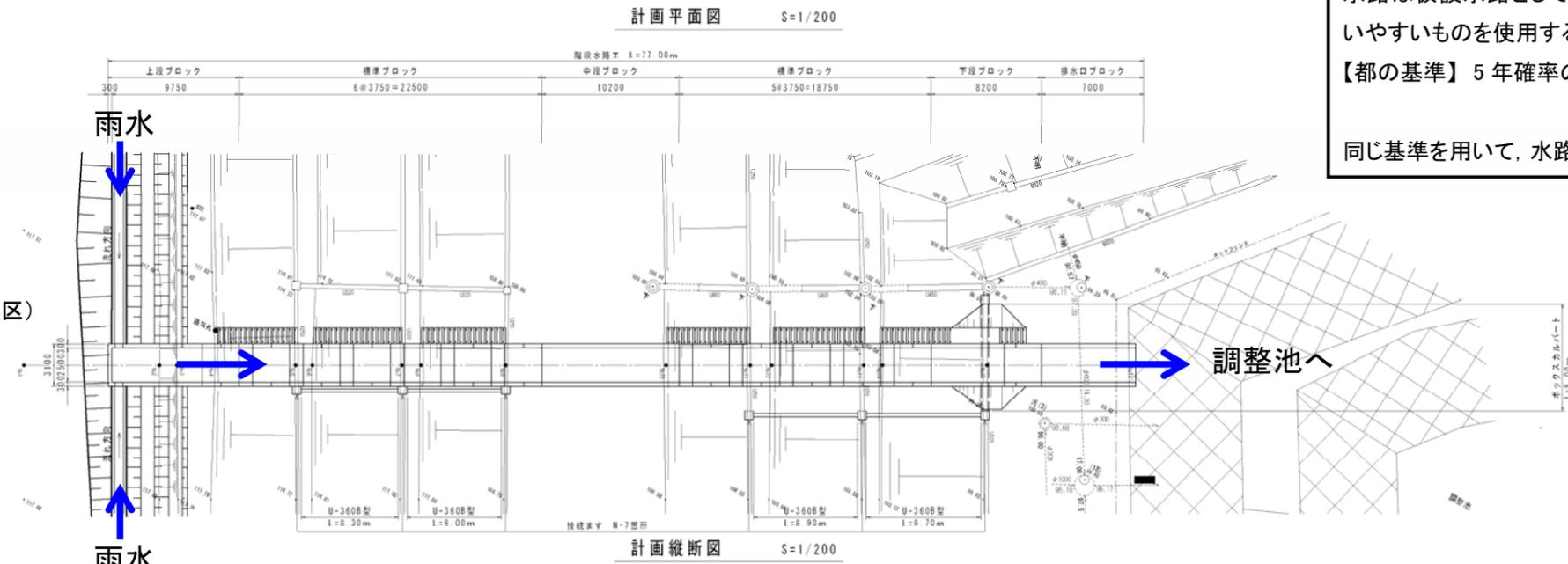


施工後



(池の辺工区)

階段状にすることで、流速を落としている。



(水路幅: 45cm)  
峠谷工区については、今回の覆土工事後、さらにもう一段階の覆土を実施する予定である。今回の水路は仮設水路として考え、設置及び撤去を行いやすいものを使用する。  
【都の基準】 5年確率の降雨強度  
↓  
同じ基準を用いて、水路幅を設定。

施工後



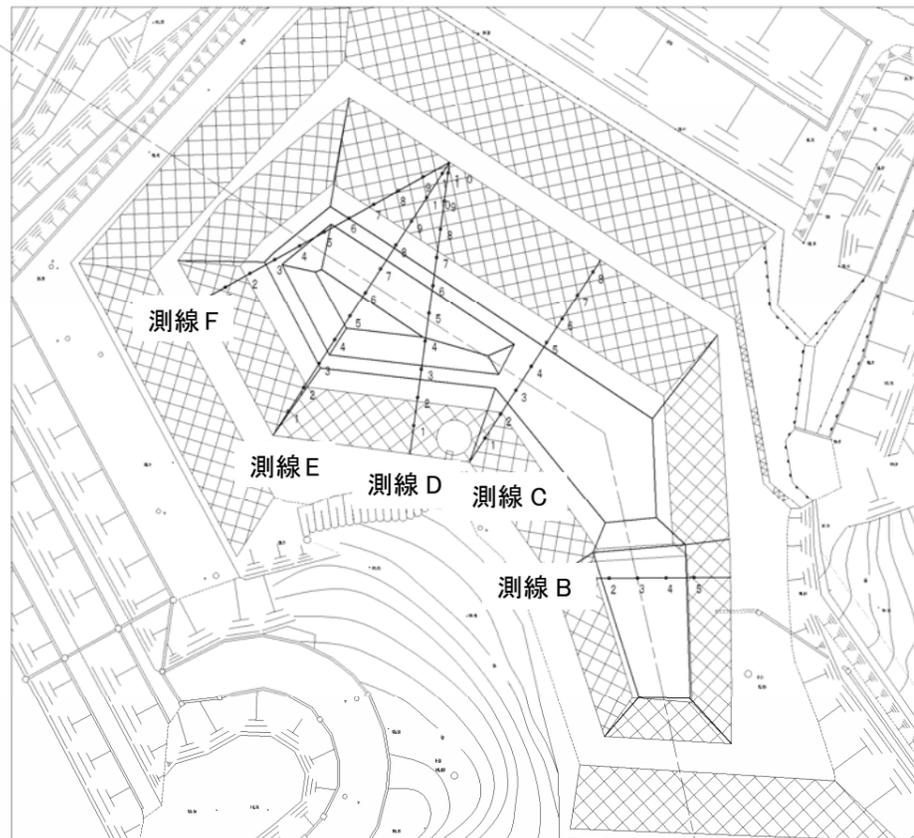
### 【対策3:浚渫】

下図の測線 B ~ F に沿って、浚渫土量を算出

最終数量：1,925 m<sup>3</sup>

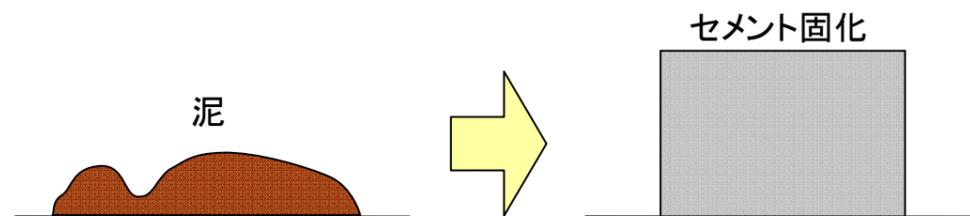
設計数量：679 m<sup>3</sup>

浚渫土箇所平面図 S=1/500



#### <浚渫後の底泥>

浚渫土を圧送し、峠谷工区内で自然脱水後、セメント固化し、峠谷工区へ定置



ダイオキシン類の測定結果（採取日 平成 21 年 7 月 16 日）

	セメント固化前	セメント固化後
ダイオキシン類溶出量	0.10TEQ-pg/l	0.000036TEQ-pg/l
基準値	1.0TEQ-pg/l	

#### <セメント系固化剤>

- ・種類：高有機質土用固化剤（ジオセット 225）
- ・添加量：脱水後の浚渫土 1 m<sup>3</sup>に対して 250 kg



採取時の汚泥



セメント配合後、強度試験を実施



試験中の様子

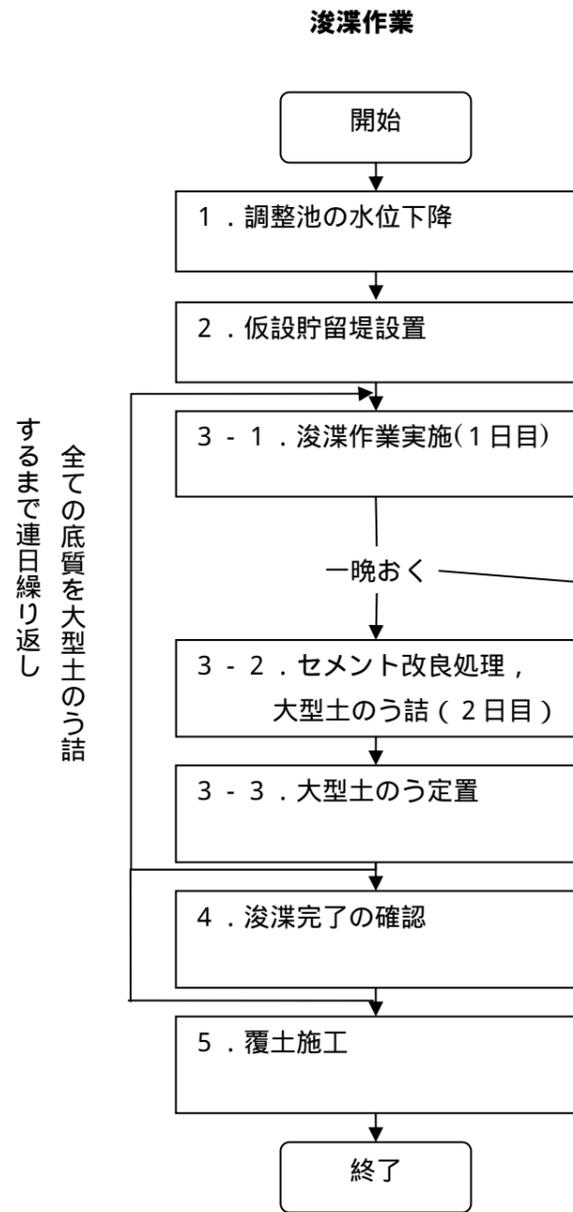
濁度計設置状況



#### <工事中のモニタリング>

- ・放流水路出口付近で、放流水の濁度を連続測定。機械からのデータ吸出しの際に、併せてセンサーの状況等確認を実施。
- ・浚渫工事開始後、調整池から放流水路への直接放流中に数値が大きく変化した場合は、工事を停止し、工事方法の再確認を行う。
- ・雨が原因となって値が超過することがあったが、浚渫工事の影響で基準値を超過することはなかった。

<浚渫工事のフロー>



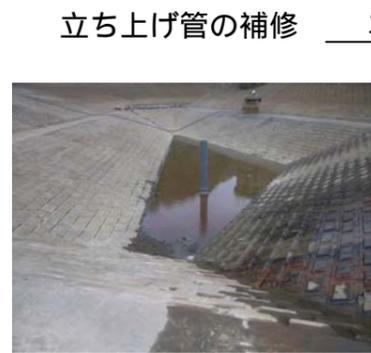
周辺環境への影響モニタリング

浚渫作業開始後、調整池内の底泥及び水については、全て貯留堤内に引き上げる。

一晩置いたあと、概ね水と汚泥が分離した状態になる。目視にて確認後、上層部の水については、排水浄化センターへ送水、処理を実施。

浚渫工事中；  
下流水質の濁度測定(連続測定)

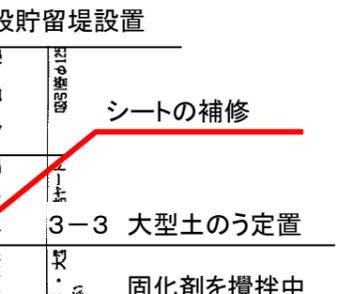
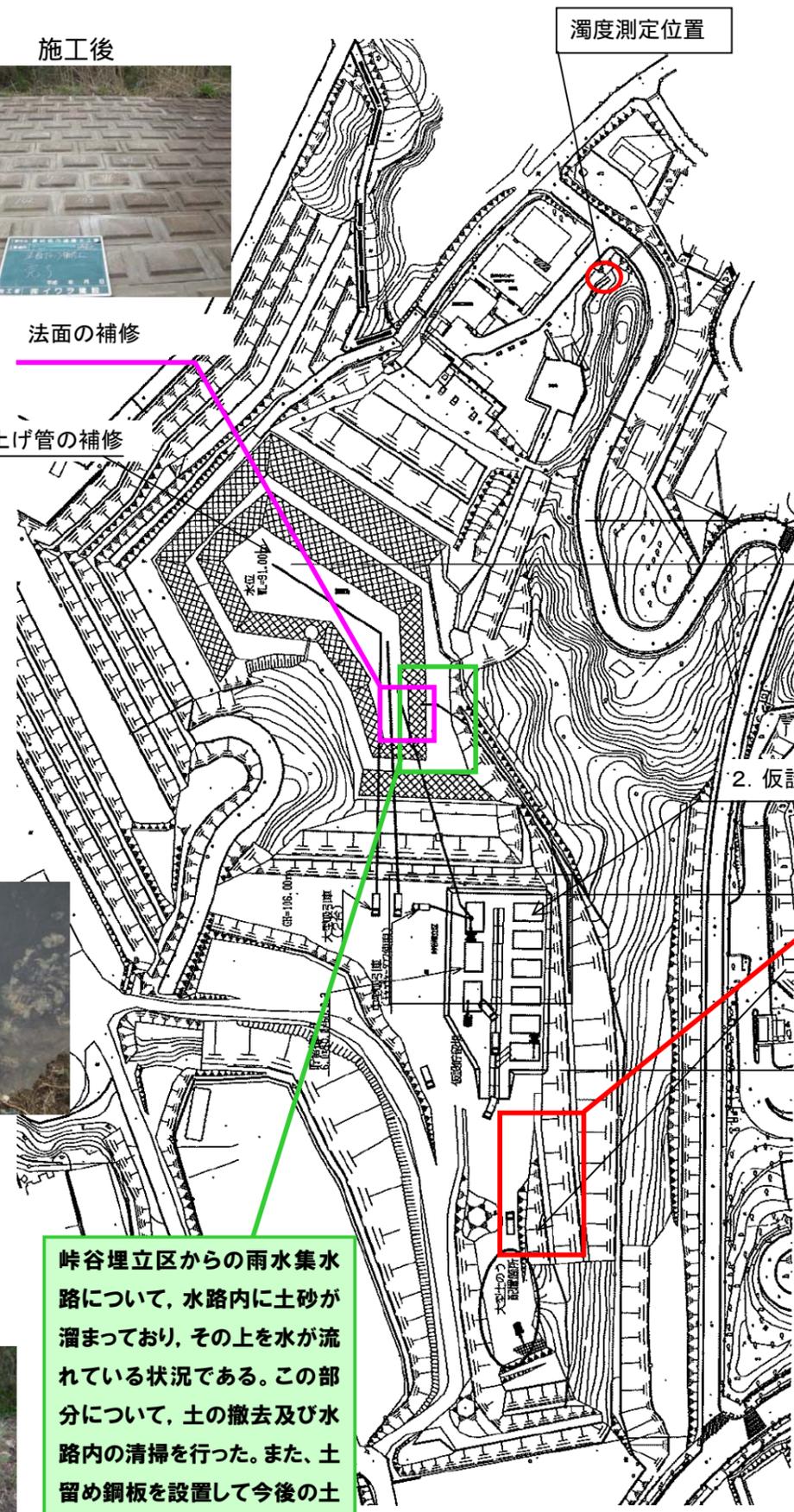
法面の補修



雨水集排水路補修



峠谷埋立区からの雨水集水路について、水路内に土砂が溜まっており、その上を水が流れている状況である。この部分について、土の撤去及び水路内の清掃を行った。また、土留め鋼板を設置して今後の土砂の流入を防止した。



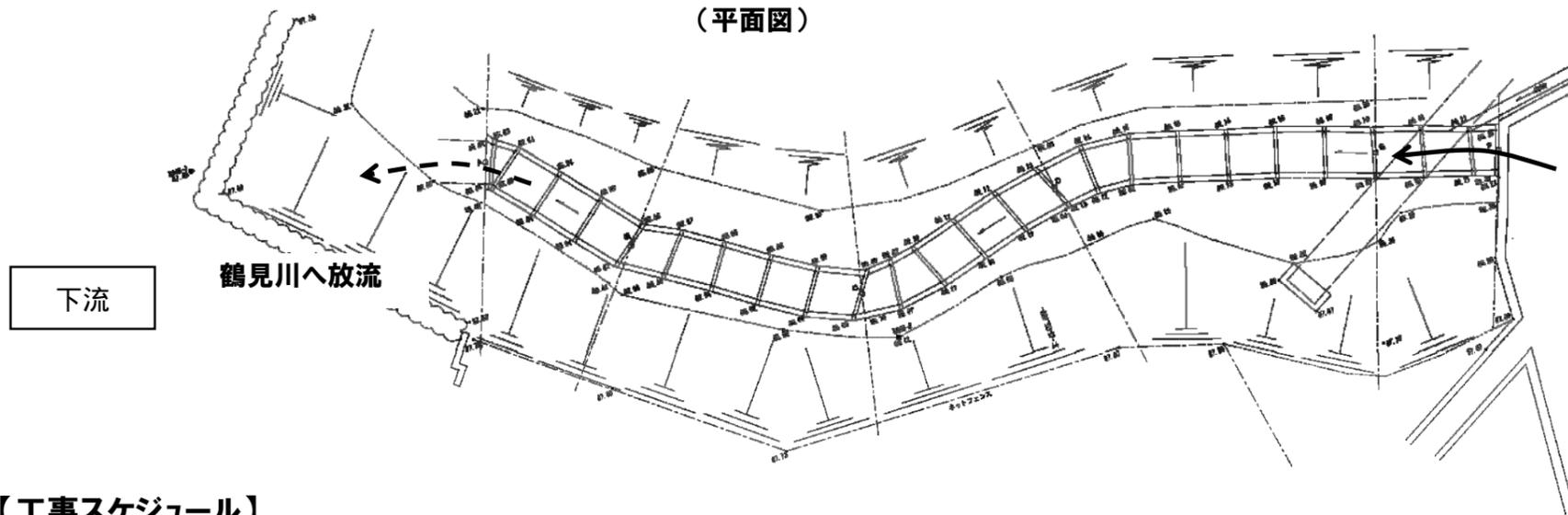
**【対策4:放流水路の改修】**

施工完了

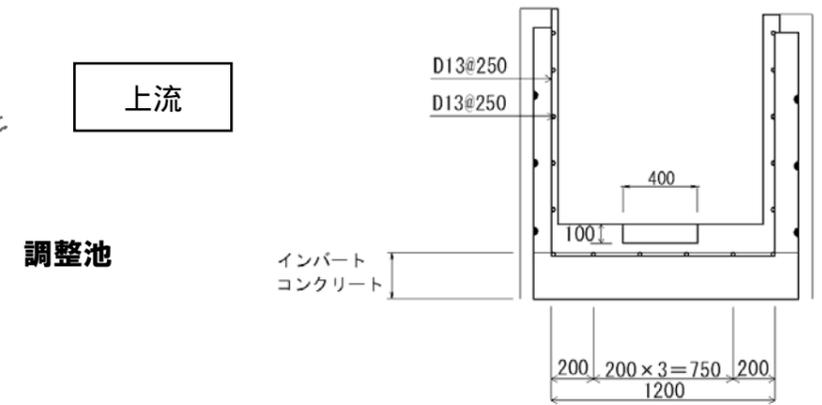
雨水調整池からの放流水及び排水浄化センターの処理水の放流先である放流水路の改修を行う。

規 模: 幅 110cm × 高さ 95cm  
延 長: 33m

(平面図)



(水路断面図)



**【工事スケジュール】**

工 種	平成21年			平成22年												平成23年		
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1. 準備工																		
2. 覆土工事																		
3. 雨水集排水工事																		
4. 付替水路工事																		
5. 調整池浚渫工事																		
6. 放流路工事																		
7. 付帯施設工事																		
8. 水替工事																		
9. 撤去工事																		
10. 管理道路																		

凡例  
 : 計画工程  
 : 予定工程  
 : 実施工程

施工前



施工後



**【対策5:管理道路】**

工事終了後の維持管理を容易とするため、管理道路の構築を行う。

- 進入道路：池の辺への進入道路
- 管理道路 1：池の辺と峠谷の連絡道路
- 管理道路 2：峠谷下部ポンプの維持管理道路
- 管理道路 3：階段水路等の維持管理用道路

管理道路 3

施工前



施工中



平成 23 年 3 月 21 日現在

進入道路

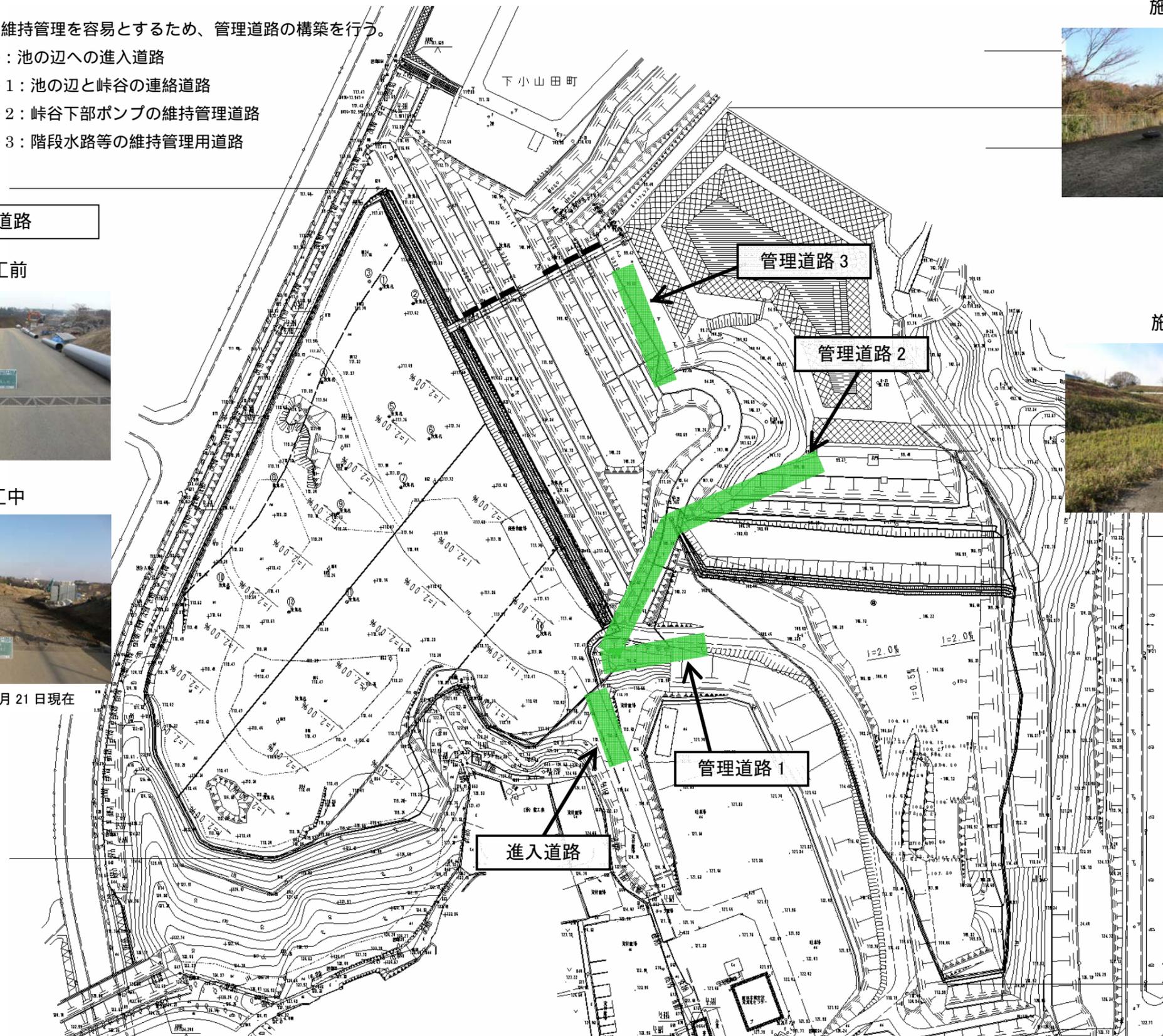
施工前



施工中



平成 23 年 3 月 21 日現在



管理道路 2

施工前



施工中



平成 23 年 3 月 21 日現在

管理道路 1

施工前



施工中



平成 23 年 3 月 21 日現在